基本戦略1 しごとを創る~野々市らしい産業の創出~

概要•目的 関連する国が示す新たな視点 (2) 新しい時代の流れを力にする 基本戦略1 当市の産業は人口規模に影響を受けやすい第3次産業が主となっています。 (3) 人材を育て活かす 石川中央都市圏の人口減少の予測から、人口規模に左右されない強固な産業構造へ転換させる必要があります。 しごとを創る これらの課題解決をめざし、大学などの研究機関が集積している当市の強みを生かした新しい産業を創出・育成します。 (4) 民間と協働する 関連するSDGs (6) 地域経営の視点で取り組む 8 83504 9 8828880 15 808024 17 6045-5075 18 808024 17 6045-5075 18 808024 17 6045-5075 18 808024 施策1-1 次代を担う産業の創出:発展が見込める新たな産業の芽の創出と、その産業の担い手の育成に 取り組みます。 具体的取り組み 施策概要 高等教育機関や石川中央都市圏と連携しながら、次代を担う産業を興そうとする担い手の発 ・創業支援セミナー 1 次世代産業の創出と育成 ・創業相談・経営相談 など また、シェアオフィスやレンタルオフィスなどのインキュベーション拠点をアイディア創出 施策1-1 のための場として充実することでイノベーションを生み出し、次代を担う産業が創出されやす い環境をめざします。 • 本社機能移転等の推進 ・研究機関等誘致の推進 など 企業立地の促進のため、引き続き支援制度を充実し、市内への企業立地及び本社機能の移転 2 市内への企業立地の促進 を促します。 ・女性・学生への創業支援 など 若者や女性の起業家や創業希望者に対し、事業を軌道に乗せるまでに必要となる様々な人的・ 3 人材の確保と育成 技術的・経済的支援を行います。 施策1-2 地域産業の再生と強化:地域産業の新陳代謝を促す創業支援や事業承継支援などを通して、 地域産業の強化と再生に取り組みます。 具体的取り組み 施策概要 高等教育機関と連携し、高機能性農産物の開発・育成・市場化を進めるとともに、ブランド化 1 6次産業化支援と特産品 ・6次産業化推進事業 など を推進します。 のブランドの育成 施策1-2 野々市ブランドになり得る商品の開発・本市の魅力PRや観光ボランティアの育成・観光物産協 ・野々市ブランド認定制度 2 観光の活性化等を通じた ・シティプロモーション など 会の活動支援を通して交流人口の増加に努めます。 交流人口の増加 3 地域産業の新陳代謝促進 空き家や空き店舗を活用して、まちに賑わいをもたらす魅力的な個店づくりや起業・創業する • 創業支援 • 市街地賑わい再生支援事業 場合などの支援策について研究し、地域産業の新陳代謝を促進します。 と活性化 4 新しい技術を活用した 生産性向上 • 先端設備等の導入 など 未来技術を活用した新たな社会であるSociety5.0の実現に向けて、事業者からの相談に対応す るとともに、ニーズに応じた支援策について検討を行います。

1

概要•目的

基本戦略2

ひとの流れを創る

関連するSDGs



ひとの交流を盛んにしながらも、多様な働き方の促進や野々市らしい暮らしの充実などを通じて安心して暮らし続けられる環境を構築することで子育て世代の定住化を促進します。

また、移住志向を高め、バランスのとれた人口構造をめざし、良好な住まいの創出に関する情報の提供を促進し、当市の安定的な成長につなげます。

関連する国が示す新たな視点

- (1)地方へのひと・資金の流れを強化する
- (3)人材を育て活かす
- (5)誰もが活躍できる地域社会をつくる

施策2-1 多様な働き方の確立:個々人が、自分のライフステージや生き方にあわせて働き方を選ぶことができる地域をめざします。

施策2-1

施策概要

1 ワーク・ライフ・バラン スの促進

市民が希望する働き方を通じて、仕事上の責任を果たしながら、子育てや介護など家庭における時間や自己実現、地域に関わる個人的な時間を持てる地域社会を実現するため、男女を問わない育児休暇や介護休暇取得の推進、事業所等に対する啓発活動に取り組みます。

2 女性・高齢者等が活躍する場の拡大

女性の働きたいという希望を、ワーク・ライフ・バランスを考慮しながら叶えるための支援 を実施します。

経験豊かな高齢者が地域で活躍し、当市の発展に寄与する環境の構築をめざします。

具体的取り組み

- ・新しい働き方の応援 など
- 女性や高齢者等の雇用創出 など

施策2-2 野々市らしい暮らしの実現:子育て支援、教育、健康づくり、介護予防等へのニーズに応え、 暮らしやすい環境のさらなる充実をめざします。

施策2-2

$\begin{bmatrix} 1 \\ 7 \end{bmatrix}$

1 結婚・妊娠・出産・子育 ての切れ目のない支援

施策概要

妊婦や親子が気軽に集える拠点を整備するとともに相談機能を強化することで、結婚、妊娠 期から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援を充実します。

2 学びの環境の充実

市内や近隣の大学の教員や大学院生を講師とし、それぞれの大学の特色を生かしながら、子どもの夢と感性を育む体験学習や地域教育、将来のしごとに対する考え方などへの教育を実践

3 生活のための健康維持

生活の中にスポーツを取り込み、スポーツを通じた健康増進などの取り組みを推進します。 老人福祉センター椿荘などを活用した、生きがいづくり、仲間づくりに取り組みます。

具体的取り組み

- 不妊治療、産後ケア事業
- 子育て支援医療費助成 など
- ・子どもの学習支援
- ・情報モラル教育 など
- スポーツによる健康づくり
- 食育の推進 など

施策2-3 移住・定住の促進:移住・定住を促進することで、バランスのとれた人口構造をめざします。

施策2-3

施策概要



優秀な若者がその能力を十分に生かし、社会に参画するための就業支援をおこないます。

2 良好な住まいの創出

市民がライフステージの変化に応じて、住み慣れた地域で住み替えができるようにするため、良好な住まいに関する情報発信を推進します。

具体的取り組み

- 若年者雇用促進事業 など
- ・空き家バンク登録事業 など





概要•目的 基本戦略3 | 当市はこれまで、石川中央都市圏内の自治体と協力・連携することで、まちの機能を維持・発展させてきま した。 魅力的なまちを これからも、産業・都市インフラ等の分野で広域連携を推進しながら、近隣自治体とともに当市の維持・発 創る 展をめざします。 関連するSDGs 3 PRIORIE 11 BARDISTA 17 BREAKLES 施策概要 1 暮らしやすい住環境づく 施策3-1 2 地域公共交通の利用促進 り、利用者の利便性向上に努めます。 3 地域交流・地域支え合いの 域の人々のつながりを深め、地域支え合いの強化に取り組みます。 拠点の形成 施策概要 施策3-2 1 高齢者が安心して暮らせ 充実します。 る地域の構築

関連する国が示す新たな視点

- (1) 地方へのひと・資金の流れを 強化する
- (5)誰もが活躍できる地域社会を つくる
- (6) 地域経営の視点で取り組む

施策3-1 生活基盤の維持と発展:利便性の高い交通網、サービスの質が高い公共施設、憩いの場となる 公園等を充実し、そのマネジメントを強化します。

- - 生活の基盤となる計画的な市街地整備と市内の道路環境の向上を推進します。 また、市民の憩いの場となる公園を充実させるとともに、市民と連携しながら公園管理を行い、 様々な世代の人が暮らしやすい住環境を整備し、定住者の増加をめざします。
- JR北陸本線・北陸鉄道石川線や路線バス等の公共交通機関と、コミュニティバスの連携を図
 - 誰でも・いつでも・どんなことでも相談できる多世代交流の場や、福祉の拠点を整備し、地

具体的取り組み

- ・土地区画整理事業 など
- ・広域的な公共交通網の強化 など
- ・地域サロン支援 など

施策3-2 安心な暮らしの確保:地縁コミュニティ、テーマ型コミュニティ等の様々な交流を支える 拠点づくりや、地域の人々同士のつながり強化を推進します。

- 拠点の整備や地域包括ケアを推進し、保健・医療・福祉等の様々な面からの総合的な支援を
- 2 人口減少に対応した地域 組織の充実強化

万が一の災害に備え、自主防災組織の活動を支援するとともに、地域防災リーダーの育成を 推進します。

具体的取り組み

- 認知症総合支援
- ・地域包括支援 など
- ・地域防災リーダー育成 など

		つながり強化を推進します。	具体的取り組み
	施策概要		
i3-3	1 「ふるさと野々市」に対する愛着や誇りを高めるための情報発信	市民のライフスタイルに合った情報発信を行うとともに、当市と地域に対する愛着や誇りの醸成に努めます。	・SNSを活用した情報発信なる
₩	2 市民と地域との絆の構築	大学と連携し、学生と地域のつながりを強化し、学生の学びと成長を支援します。 市民協働のまちづくりとして、市民のまちづくり活動支援や市民協働モデル事業を推進します。 また、市民活動センターにおいて、人材や団体の育成を推進します。	・市民活動センターの活用 など
	3 関係人口の創出・拡大	市内大学出身者コミュニティのつながりを強化するとともに、産業振興における連携に結び つけます。	ふるさと交流会の充実ふるさと納税の活用 など
3-4	施策3-4 石川中央都市區	圏等の発展:石川中央都市圏に属する自治体と連携するとともに、市内外の高等教育機関との連携により、高等教育機関が持つ貴重な知識や技術等を地域へ 還元しながら広域的な創生に寄与します。	具体的取り組み